



うまこしゆうせい
馬越裕正議員

若者による若者のための スポーツ振興を目指して

議員 今年の夏の全国高校総体、いわゆる、インターハイで、笠岡市では、ウエートリフティングが開催予定である。それに向けての準備は万端か。

市長 まず、プレ大会が、6月18日、19日に開催予定である。そして、本番は、8月4日からの予定である。笠岡工業高校にウエートリフティング部があり、団体戦、個人戦それぞれでの入賞が期待されている。また、高校生が主体となつて、企画、準備、運営を行つていく予定である。



健康対策で日本一 を目指そう

議員 市民の健康対策と長寿命化対策においては、笠岡市は、先進地であると考えられる。さらなる取り組みについてたずねる。

市長 今までも、「ぐるりんウォーク」などを実施することによって、市民の健康寿命延伸の取り組みをしてきている。今後は、新たに自分の運動量や食べた量を入力できるシステムを導入して、具体的に見える化することにより、楽しみながら、健康づくりを継続することを目指す。



地域で担う 福祉計画とは

議員 笠岡市地域福祉計画(案)で、まちづくり協議会を強調している理由は。

市長 少子・高齢化が進む中、これまでの公的な福祉サービスを維持することには限界がある。まちづくり協議会は、多種多様な団体、地域住民が集い、地域の課題を解決し、地域活動を協働で実行していくプラットフォームとしての役割を担っていくものと考えている。

議員 2年前にお願いしていた、地域での担い手が少なくなつていく中で、福祉分野を統合して地域におろすことと、災害時の指揮系統の一本化をどう検討しているのか。

健康福祉部長 地域の中で考えていただきたい。



くらもとたかふみ
藏本隆文議員

黒字経営の 新市民病院を

議員 市民病院の建て替えについて、単市と広域連携と比較検証されたのか。

市長 検討委員会の答申を踏まえ、単市を選択している。

議員 今期決算予測が約3億円の赤字となっているが、新病院建設に当たり、財政面についても解消できるよう計画されているのか。

市長 病院改革に向けて取り組んで経営の効率化を進める。最終決定前に議員の皆様と相談はやっていかないといけないと思つている。

危機管理部長 福祉部門と協議していきたい。

